

千葉大学病院腎臓内科にご来院された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024 年 10 月 1 日

腎臓内科

腎臓内科では、腎疾患患者における新規尿中バイオマーカーの開発に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報などを、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2017年より実施されている「腎臓内科疾患のデータベース作成ならびに腎臓病の新規診断法と新規治療法の開発」に参加され、将来の研究への試料・情報の利用及び提供に同意された方

1. 研究課題名

腎疾患患者における新規尿中バイオマーカーの開発

2. 研究期間

2024年承認日～2027年12月31日

この研究は千葉大学倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

さまざまな腎疾患の診断において腎生検検査による組織所見の評価が重要ですが、腎生検検査は入院を必要とする侵襲性(リスク)の高い検査であり、繰り返し行うことは難しいです。また、医療は少しずつ進歩し、それぞれの病気の原因は解明されつつありますが、なぜ病気が進行してしまうのか明らかなメカニズムや治療法はわかっていません。現在、腎臓内科では腎臓の病理学的所見を反映し、腎機能の重症度を予測する新規バイオマーカーの開発を行っております。本研究では、先行研究で採取・保管している試料を使用して、血液および尿中のタンパクを測定させていただきます。それにより、そのタンパクが病態にどのように関わるのかを検討し、尿中の指標（バイオマーカー）とな

るのか、腎生検に代わり腎臓の状態を予測できるのかという治療法の解明に繋げていきたいと考えています。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

先行研究「腎臓内科疾患のデータベース作成ならびに腎臓病の新規診断法と新規治療法の開発、【生 1247】」で二次利用の同意を得て採取・保管している血液検体・尿検体・腎生検組織を試料として用います。

また、患者さんの診療録から、下記の情報を収集します。

- ① 診断
- ② 年齢
- ③ 性別
- ④ 治療方法
- ⑤ 治療反応性
- ⑥ 生化学検査、血液学的検査等の臨床検査結果
- ⑦ 腎生検組織型

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 大鳥 精司

研究責任者：腎臓内科 助教 若林 華恵

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部腎臓内科研究室で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研

究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院腎臓内科

医員 山崎 佳穂 / 助教 若林 華恵

043（222）7171 内線5085